

広東省および主要都市の経済概況（2022年）

更新日 2023年6月

JETRO



【地理・歴史】大陸部最南端に位置。福建省、江西省、湖南省、広西チワン族自治区、香港・マカオと隣接。省内を流れる珠江の河口周辺部は珠江デルタと呼ばれ、広州市、深圳市、東莞市など9市からなる経済の中心地。方言話者が多く、広東語4,000万人、閩南語1,700万人、客家語1,500万人。広東出身の華僑・華人は3,000万人以上で全国の半数を占める。

【経済・産業】1980年に深圳市・珠海市・汕頭市が経済特区に指定、香港資本の誘致を中心に対外開放が進んだ。深圳市・東莞市では香港を活用した広東式の加工貿易（原材料を保税輸入し加工品を輸出）が発展。多くの外資系企業が進出し電子・電機産業が集積。中でも深圳市は中国最大の電子・電機が集積地に。2000年代は「転型昇級」と呼ばれる産業構造転換・高度化を図り、加工貿易が柱の輸出型経済から、高付加価値・ハイテク産業やサービス産業への転換を推進。広州市周辺は日系を中心に自動車産業も集積、完成車280万台を生産し全国トップクラス。深圳市は「山寨（模倣品）」の街を経てハードウェア系スタートアップ/ベンチャーの中心地に。

【その他】2015年には広州南沙新区、深圳前海新区、珠海横琴新区に中国（広東）自由貿易試験区が設置。「粤港澳大湾区」計画により広東省・香港・マカオの関係強化をめざし、三地域を繋ぐ「港珠澳大橋」や広州市～香港の高速鉄道などインフラ整備が進む。

【日系企業】珠江デルタ中心に自動車、電子・電機、小売・飲食、化学品、機械など約1,600社。

2022	単位	広東省	対前年増減	全国に占める広東省の割合	広州市	対前年増減	広東省に占める広州市の割合	深圳市	対前年増減	広東省に占める深圳市の割合
①面積	万km ²	18.0	-	1.9%	0.7	-	4.1%	0.2	-	1.1%
②常住人口	万人	12,657	-0.2%	9.0%	1,873	-0.4%	14.8%	1,766	-0.1%	14.0%
③GRP	億元	129,119	1.9%	10.7%	28,839	1.0%	22.3%	32,388	3.3%	25.1%
うち第1次産業	億元	5,340	5.2%	6.0%	318	3.2%	6.0%	26	0.8%	0.5%
うち第2次産業	億元	52,844	2.5%	10.9%	7,909	1.1%	15.0%	12,406	4.8%	23.5%
うち第3次産業	億元	70,935	1.2%	11.1%	20,611	1.0%	29.1%	19,956	2.4%	28.1%
④固定資産投資	億元	-	-2.6%	0.0%	-	-2.1%	-	-	8.4%	-
⑤社会消費品小売総額	億元	44,883	1.6%	10.2%	10,298	1.7%	22.9%	9,708	2.2%	21.6%
⑥都市住民一人当たり可処分所得	元/年	56,905	3.7%	-	76,849	3.3%	-	72,718	2.6%	-
⑦貿易額	億元	83,103	0.5%	19.8%	10,948	1.1%	13.2%	36,738	3.7%	44.2%
うち輸出	億元	53,323	5.5%	22.3%	6,195	-1.8%	11.6%	21,945	13.9%	41.2%
うち輸入	億元	29,780	-7.4%	16.5%	4,754	5.3%	16.0%	14,793	-8.5%	49.7%
⑧対内直接投資額(実行ベース)	億元	1,819	-1.1%	14.8%	574	5.7%	31.6%	110※	0.1%	-